

2021年(第19回)全国介護学習交流集会

介護をする人・受ける人が 大切にされる介護保険制度への転換を ケアを社会の中心に

コロナ危機は、人間にとって必要不可欠な営みである介護の重要性を明らかにしました。しかし、「保険あって介護なし」の状況は改善されず、必要な介護を受けられない人がたくさんいます。国は、感染対策は現場任せで、介護事業者もそこで働く労働者も限界です。どうすれば介護をする家族・労働者・事業者も、受ける人も大切にされる介護保険制度にすることができるのでしょうか。岡野先生の講演、中央社保協の提言から学ぶとともに、コロナ危機でより鮮明になった介護の実態・問題を、利用者・事業者・労働者の立場から告発します。

- ◆日時 **10月31日(日)**
13:00～16:05(開場12:30予定)
- ◆会場 **全労連会館2階ホールとWEB併用**

主な内容



●講演Ⅰ ケア労働から 新しい民主主義を考える(仮)

講師 おかの やよ **岡野 八代**さん

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教員、専門は西洋政治思想史・フェミニズム理論。

主著に『ケアするのは誰か?』(白澤社)、『戦争に抗する』(岩波書店)、『フェミニズムの政治学』(みすず書房)、訳書にアイリス・ヤング『正義への責任』(岩波書店)、エヴァ・キティ『愛の労働、あるいは依存とケアの正義論』(白澤社)、ケア・コレクティブ『ケア宣言:相互依存の政治へ』(大月書店)ほか

無料配信!
参加無料



- 講演Ⅱ 中央社保協 介護提言
- 参加者からの発言/講演者からの感想とまとめ
行動提起/集会宣言など

◆ZoomウェビナーとYouTubeで配信します!



地域・職場のみんなと一緒に視聴しましょう!

主催：2021年全国介護学習交流集会実行委員会(事務局：中央社保協、全日本民医連、全労連)

実行委員会団体：中央社保協、全日本民医連、全労連、ホームヘルパー全国連絡会、日本医労連、福祉保育労、自治労連、生協労連、建交労、全労連・全国一般、東京地評

連絡先：全労連介護・ヘルパーネット 文京区湯島2-4-4全労連会館4階 TEL03-5842-5611 kaigo@zenroren.gr.jp